

原文

指摘事由

トルコ革命について、誤解するおそれのある表現である。

(3-9 行)

戦後イギリスを中心とする戦勝国側による占領・半植民地化の危機に瀕したが、これに抵抗する民衆はムスタファ・ケマルを中心にアンカラに革命政権を樹立して、国土防衛のためにたたかった。革命政権は 1923 年にはローザンヌ条約で、アナトリアを中心とする領土の保全と独立の維持、治外法権の廃止を勝ちとった。同時にスルタン制が廃止されて共和制が樹立され(トルコ革命)。

(10 番関連修正: 修正にともない、本文のオクリにより当該の語の記載頁が変更されたため、223 頁索引を修正)

パレスティナ

……………25,158,186,192,204

修正文

(3-9 行)

戦後は連合国による占領・半植民地化の危機に瀕した。これに抵抗する民衆はムスタファ・ケマル
を中心にアンカラに革命政権を樹立し、国土防衛のためにたたかった。この戦いに勝利した革命政権は、1922 年にスルタン制を廃止、23 年にはオスマン政府が連合国と締結していたセーヴル条約にか
わって、あらたにローザンヌ条約を結び、アナトリアを中心とする領土の保全と独立の維持、治外法権の廃止を勝ちとった。同年、共和制を宣言し、

パレスティナ

……………25,159,186,192,204